

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS GD

当社で実際に機械をご導入いただいたお客様の
「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画推進課

宗教法人 真生会 様

今回は在家仏教の教団宗教法人真生会の加納様と高橋様に、現在ご使用中のORPHIS GD7330の感想をお伺いしました。

ORPHIS GD7330に入れ替えてさらなる進化

当教団の事務所内には現在プリンターが3台あり、全て合わせて毎月約20,000枚の印刷を行っています。そのうち9割の印刷をORPHIS GD7330で行い、ORPHISで印刷するほとんどの物はカラーで印刷しています。その中でも一番印刷枚数が多い物が毎月発行している教団の活動内容やご真教法話等をまとめた冊子「ひかり」の印刷です。「ひかり」はA4用紙に両面フルカラーで印刷し、フィニッシャーで半分折りの中綴じ製本をしてA5サイズ16ページの冊子になるように作成しています。「ひかり」は教団員や一般の方へも配布を行いますので、教団内でも出来上がりに大変拘りがあります。「ひかり」の作成にこだわっていくなかで、カラーの色味も常に模索していましたが旧ORPHISでの限界を感じていました。そんな中で紹介を受けたのがGDシリーズのORPHISでした。

それまでのORPHISは4色のインク（シアン/マゼンタ/イエロー/ブラック）で色を作っていたのに対し、GDシリーズは4色にグレーを加えた5色で色を作り出しています。グレーインクが追加されたことにより全体的に発色が良くなりクオリティが格段に上がりました。中でも以前の機種に比べ黒色の濃淡がはっきり出るようになり、同じ原稿で印刷しても同じ物かと思えないぐらいの良い出来になりましたね。会長先生の「皆様に少しでも綺麗な冊子をお届けしたい」という想いで「せっかく綺麗に印刷できるようになったのであれば…」と冊子印刷に使用する紙をマット紙から質感と見た目が良い半光沢紙（RISO専用紙）に変更をしました。半光沢紙に変更した事で、インクの裏抜けがほぼ無くなり、見た目が少し輝いていることや持った感じ紙が分厚くなった事で印刷物に高級感も付与され、会員様から「すごく良い冊子（ひかり）になったね！」と、好評を博しています。新ORPHISになり印刷の精度が良くなった事と、用紙を変えた事もあり以前までの冊子と比べて格段に完成度の高い物が出来るようになり嬉しい限りです。



3代目ORPHIS!

実は当教団でORPHISを使用するのはこれが3台目で16年にわたりORPHISのファンなんです。16年前最初に使用したのがORPHIS HC5500、その後EX7250、そして今のGD7330です。HC5500の前は孔版印刷機で印刷し、その後丁合、折り、中綴じを全て手作業で行っていてかなりの時間と労力を費やしていましたし、孔版印刷機はインクが乾くのにも時間がかかりましたので冊子を作るのに丸一週間かかっていました。初代ORPHISのHC5500が入った時はその作業が2日で行えるようになりかなり喜んだことを覚えています。ORPHISはカラー印刷のコストがお安いのでモノクロ印刷をする感覚で手軽にカラー印刷が出来ますし、更に後処理機能も付いていて本当に助かっているのです。これからの将来ORPHISがなくなる事は考えられませんね。ただ、どうしてもレーザープリンターに比べると写真の画質が劣ったり余白が必ず必要だったり紙詰まりをすること等もありますがこれから先もずっとORPHISを使用し続けたいと思っていますので今後益々性能が進化していくのを楽しみにしています！

営業担当者の声

お客様に3世代ORPHISをご使用頂く中で、ORPHISの進化と共に私たちも新たな価値を創造すべく努めて参りました。長きに渡りORPHISを愛用頂き、大変嬉しく思っています。その中でも一番嬉しかった事は、心を込めて真生会様が作成した冊子を手に取った会員様が変化に気づき、評価頂けた事がとても嬉しく感じます。



担当営業：谷貝 太志

ペーパーレスでデジタル化が進んでいますが紙だからこそ伝わる事があると思います。同じ思いを持った真生会様と共に新たな価値を創造し、もっと会員様が笑顔になるように尽力していきたいと思っています。

ORPHIS GD7330…スピード：毎分130枚、コスト：フルカラー1枚1.44円。詳しくはジムブレーションまでお尋ねください。

岐阜県内のJB導入事例はHPにて公開しています。